

平成18年度
駿河台大学同窓会報
 第12号
 発行
 駿河台大学同窓会事務局
 〒357-8555
 埼玉県飯能市阿須698
 ☎(042)972-1101
 ホームページ
<http://www.sunugadai.ac.jp/~dousou/index.html>

平成18年度 同窓会の活動を振り返って

昨年度駿河台大学は、創立20周年を迎え、記念すべき年に相応しく、同窓会も活発な活動が行われました。この一年の活動を振り返り、新たな年に向け、飛躍していききたいものです。

平成18年度同窓会総会

平成18年5月13日(土)、サンシャインシティプリンスホテル(豊島区東池袋)にて、同窓会総会が開催されました。

総会は、15時から行われ、竹下守夫(前)学長からのご挨拶、続いて富岡勇哉同窓会長(平成4年法学部卒)のご挨拶の後、各役員より平成17年度事業報告・収支決算報告・監査報告がありました。平成18年度事業計画及び予算案についての審議では、議案について例年になくたくさんのご意見・ご質問をいただき、活発な議論がなされました。最後に、平成18年度役員紹介があり、閉会となりました。

16時からは懇親パーティーが開催され、約100名の方にご出席いただきました。余興では、在学生からアカベラサークルaccp(エイシーピー)の選抜メンバー12名がステージに立ち、日頃の練習成果を披露させていただきました。懇親会の途中ではビデオ上映もあり、最後に、恒例の校歌斉唱をしてお開きとなりました。



同窓会総会

ホームカミングデー

10月28日(土)の駿輝祭期間中に、第5回ホームカミングデーが開催されました。ホームカミングデーは、卒業生が気軽に母校を訪れ、学部・学科を越えて親睦を深めていただく場として、同窓会が企画しています。



ホームカミングデートークショー

13時から第1講義棟4階の7405教室にて、同窓会・父母会共催のトークショー「永島流サッカーク観戦の楽しみ方」が開催され、フジテレビ「スーパーニ

ュース」のスポーツキャスターとしてもお馴染みの、サッカー解説者・JFAアンバサダー永島昭浩氏をお招きしました。永島氏の現役時代のお話や、先に行われたドイツワールドカップの解説など、サッカーファンを魅了する一時間でした。

続いて15時から、第二講義棟15階レセプションルームにて懇親会が行われました。

最近では、ご家族連れで参加して下さる卒業生の方も増え、「毎年この機会を楽しみにしている」という声も聞かれました。



ホームカミングデー懇親会



邦楽三味線倶楽部の演奏

余興では、邦楽三味線倶楽部のOGと在学生が「ぎつちんちゃん」、「さくらさくら」、「品川じんく」をアンコールでは「ふるさと」を演奏し、会場を華やかに盛り上げていただきました。

ときめきコンサート

12月2日(土)、学長・同窓会共催「駿河台大学OB吹奏楽団によるときめきコンサート」が開催されました。第二講義棟15階レセプションルームに観客席とステージを設け、計130名以上の方にご来場いただき、約一時間のミニコンサートが開かれました。

本企画は、大学が20周年を迎えることから、地元の高中生や近隣の方にも、大学をPRできるような機会を設けたいとの、同窓会長からのご提案で実現したものです。



OB吹奏楽団の演奏

「ときめきコンサート」は15時30分から始まり、途中の休憩時間には、お飲物を用意してお楽しみ

いただきました。曲目は、歌劇カルメンより「前奏曲」、G線上のアリア、デイズニードレ、ボギー大佐、サウンドオブミュージック、喜歌劇「天国と地獄」とアンコールでは「そりすべり」を演奏していただきました。

OB吹奏楽団の紹介

OB吹奏楽団は平成18年7月に結成され、毎週日曜日の17時から21時まで本学で練習をしています。「第28回全日本アンサンブルコンテスト」で銀賞を受賞したメンバーを中心に結成され、本学の卒業生や学外の団員を含め、現在27名で活動しています。

団員募集中です

大学への卒業寄付

平成18年度同窓会総会にて、同窓会から大学への卒業寄付として、次の楽器を購入することが承認されました。

- テナーサクソフォン(一)、シンバル(二)、スネアドラム(二)、タンバリン(二)、ボンゴ・コンガ(各一)、ハーモニードイレクター他
- 入学式・卒業式等の式典での演奏の他、地域のボランティア演奏にも役立てていただけるものと期待しております。

会報誌の発行・ホームページの開設

年に二回、4月と10月に会報誌を作成し、全会員にお送りしています。誌面では、大学の近況報告や同窓会総会・ホームカミングデー等の案内もしております。同時にホームページも開設し、会報誌のPDF等を公開しておりますので、是非ご覧ください(3面参照)。

なお、ゼミや部活等のOB・OG会の模様を本会報誌で紹介いたします。ご希望の団体代表の方は、原稿と写真を同窓会事務局までお送りください。

事務局からお願い

ご住所等変更になった場合には、同窓会事務局までご連絡ください。同窓会ホームページからも変更ができます。(同窓会事務局)



退任教授からの

メッセージ

我が国が当面する問題

法科大学院教授 河上和雄



一口にわが国をめぐる内外の情勢はまことに流動的かつ不安定というが、現実を見ると、国内的にはいざなぎ景気を抜き去るほどの好況が続いており、人々の生活もおおむね安定して、さほど問題がないように見える。そのためか、時勢を憂う人は少なく、学生諸君もどちらかといえばのほほんとして学生生活を楽しんでるようである。だが、本当に現在のわが国は安定した基盤の上にとまっているのだろうか。国際的に見れば、中国の目覚ましい台頭がある。経済面だけなら心配はない。宇宙衛星をミサイルで爆破したり、原子力潜水艦で我が国領海を侵犯したり、その軍事力は世界の平和を脅かしている。

北朝鮮の核実験、ミサイル発射もまた然り、東西対立から南北対立と変わったが、イラン、イラク、中南米といった不安定な孤の問題もある。泥沼化したイラク、アフガニスタンの問題もアメリカだけの問題ではなく、我が国と無縁ではない。一方国内的にも、少子高齢化、年金、医療制度の破綻、格差社会の拡大、治安の悪化、政治腐敗、財政の健全化といった多くの問題を抱えている。

こういう時期に世間の荒波に採まれることなく、大学で学べる学生諸君は幸福といわなければならぬが、いずれは社会の第一線に出て、こういう国際的、国内的な悩みを少しでも正しく直す努力をしなければならぬであらう。

駿河台大学を去るに当って、学生諸君が将来に備えて広く国際的、国内的な視野を持ち、我が国を抱えている問題を深く洞察し、将来の我が国を背負って立つ有為な人材となるように期待している。十年一昔というが、この大学で教鞭をとった十年余りの年月は、私自身にとっても意義のある歳月であった。

環境生物学を標榜して

経済学部教授 内田康夫



本学へ就任することが決まったのは設立初年度のことでしたが、実際に就任したのは1990年の経済学部開設時のことでした。その事前打ち合せの席で、事務方から、担当科目の名称はどうなりますか、と聞かれて、私は一瞬詰まりました。

前任校は医科大学で、私は基礎医学系の数科目と実習を担当していましたので、漠然と生物学一般を想定していたのですが、改めて名称の考えを出されて、そうか名称は重要だぞ、と思い当たったわけです。そこで、スマセン、二、三日考えさせて下さいとお願いしました。科目名称の下の方は生物学でいいとして、その上に何か恰好のいい形容詞がないかと思案しましたが、フト、環境という言葉が浮かびました。こうして本学17年間標榜することになった環境生物学なる名称が生まれました。

当時は今ほどには環境、環境と騒ぎ立ててはいませんでした。が、それまでの私はミクロの世界(DNAとかポリペプチドとか)に集中していたので、マクロの世界(環境とか生態系とか)に視点をシフトさせようと考えていた矢先のことでした。

今は、専門分野として環境生物学を名のる教授も何人か見かけ、大学によっては学科名にもなっています。しかし、そういう分野が公式に認知されているわけではなく、学会も機関誌も研究者間の連携もありません。したがって、それぞれが自由勝手に講義や研究を展開していることになりました。

しかし、私が本学でこの名称の科目を設けたのは、まあよかつたのではないかと、今、思っています。それは、開講当初から学部学年を問わず、大勢の学生たちが履修してくれたからです。その間に、世の中が環境重視へと大きく方向転換したことも追い風になりました。その結果、理系の知識が不十分な学生たちに、理系の世界を紹介し、人、心、命といったものの合理的な理解を少しは伝えることができたと考えています。

学校法人駿河台大学

新体制決定!

学校法人駿河台大学は、2月8日(木)に開催された理事会にて、平成19年4月1日以降の役員人事を次の通り決定いたしました。

- 名誉総長(顧問) 山崎春之
- 総長 竹下守夫
- 理事長 山崎善久
- 学長 成田憲彦
- 副学長 南林さえ子
- 原 聡

なお、3月8日(木)に開催された学部長選挙により、法学部、経済学部、現代文化学部の三学部の次期学部長が決定いたしました。平成19年度の各学部学部長は次の通りとなります。

- 経済学部長 町田欣弥
- 文化情報学部長 波多野宏之
- 現代文化学部長 小俣謙二
- 法学部長 吉田恒雄

ロゴマーク決定



駿河台大学 SURUGADAI UNIVERSITY

駿河台大学創立20周年記念事業の一環として、一般公募による本学独自のロゴマークが制定されました。

14歳から75歳まで多数の方にご応募いただき、応募総数は210点にもなりました。当初の予想をはるかに上回るご応募をいただき、急速に、在学生・教職員の投票による予備選考が行われ、さらにロゴマーク選定委員会による厳正な審査を経て、千葉県在住の福田彰宏(ふくだあきひろ)氏の作品が最優秀賞に選ばれました。

この作品には、駿河台大学の「S」を21世紀に羽ばたく鳥の形に込めてシンボライズし、「世界に羽ばたく人材を輩出する大学」との意味が込められています。また、カラー版では、ブルーは入間川の流れ、グリーンは加治丘陵を表し、本学の豊かな自然をも表現しています。

同窓会ホームページをご利用ください

同窓会事業の一つとして、ホームページを開設しております。駿河台大学同窓会に関する最新情報や同窓会主催の行事のご案内、各種お知らせが掲載されています。その他、証明書の発行、住所変更等にもご利用いただけます。URL、コンテンツは次の通りです。



<http://www.surugadai.ac.jp/dousou/index.html>

- 主な内容
- 同窓会概要 ○活動状況 ○同窓会報 ○証明書申込
 - お知らせ ○写真館 ○各種リンク
 - トピックス一覧 ○訃報一覧他

証明書の発行について
従来、証明書の発行にあたっては、身分証明書の提示を必要としておりましたが、個人情報保護の観点より、ご本人の意思による申請であることを確認させていただくことになりました。

平成19年4月より、身分証明書(※注1)や委任状(※注2)等をご用意いただくこととなりますので、ご協力の程お願いいたします。

- ①本人が受領する場合(原則)
身分証明書を提示してください。(郵送での申込みの場合はコピーを同封)
- ②代理人が申請・受領する場合
本人の身分証明書のコピー、委任状、代理人の身分証明書を提示してください。

※1身分証明書 運転免許証、パスポート、健康保険証等の公的証明書
※2委任状 本人の意思が確認できるように作成してください。本人の捺印がないものは無効です。委任状の見本は同窓会ホームページで確認できます。

《証明書申込に関するお問い合わせ先》

- 〒357-8555 埼玉県飯能市阿須698 駿河台大学 教務課 TEL 042-972-1110
- 〒357-8555 埼玉県飯能市阿須698 駿河台大学 教務課 TEL 042-972-1211
- (経済学部) 042-972-1110
- (文化情報学部) 042-972-1311
- (現代文化学部) 042-972-1188

《個人情報の取り扱いについて》

会員の皆様の個人情報は、
1. 同窓会報の発送
2. 同窓会行事の連絡
3. 他の同窓生から事務局に対し連絡先の照会があった場合の本人への確認(事務局から問い合わせ)
等に使用します。また、会員の皆様に郵送物を送付する際、外部業者に発送を委託する場合がありますが、その際は、個人情報管理について確認できる資料を提出させる等して、厳重に取り扱います。
また、証明書発行の際にご提出いただいた本人確認のための身分証明書のコピー等は、証明書の発行目的以外には使用いたしません。

(同窓会事務局)

退任教員一覧	
〔法学部〕	岡本 昌子 助教
〔経済学部〕	河崎 祐子 助教
〔現代文化学部〕	佐野 富士子 助教
〔法科大学院〕	内田 康夫 助教
	本多 啓子 助教
	浅田 登美子 助教
	河上 和雄 教授
	木下 公明 教授

平成19年度同窓会総会・懇親会のご案内

明治記念館にて開催

同窓会事務局では、同窓生の皆様が集う場として、年に2回懇親会等を企画しております。

平成19年度は、5月12日(土)に、明治記念館(港区元赤坂)にて、同窓会総会を開催いたします。また10月27日(土)(駿輝祭時)にはホームカミングデーを企画しております。

総会当日は、平成18年度の決算報告、平成19年度予算及び事業計画等を審議し、総会終了後に懇親会を予定しております。懇親会では、在学生によるサークル発表等も企画しておりますので、どうぞお楽しみに。

昨年の総会では、多くの方からご質問やご意見をいただき、活発な議論がなされました。今年の総会・懇親会にも、一人でも多くの会員の皆様にご出席いただければ幸いです。

ご出席いただける場合は、会場準備等の都合上、同封のがきを同窓会事務局までご返送ください。ご都合に合わせて、総会または懇親会のいずれかのご出席も可能です。お気軽にご参加ください。

●同窓会総会・懇親会のご案内

開催日：平成19年5月12日(土)

場所：明治記念館

総会 2F 丹頂

懇親会 2F 鳳凰

〒107-8507

東京都港区元赤坂2-2-23

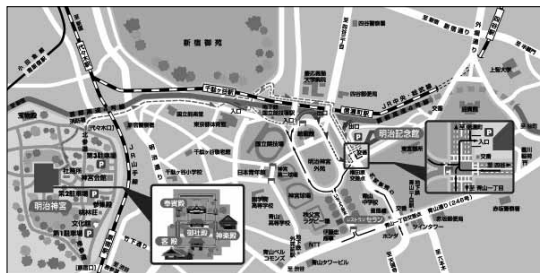
TEL03-3403-1171 (代表)

時間：総会 15時30～

懇親会16時30～(会費：1人1,000円)

総会のみ出席の方は無料です

アクセス：JR(中央・総武線)信濃町駅徒歩3分、地下鉄(銀座線・半蔵門線・大江戸線)青山一丁目駅2番出口徒歩6分、地下鉄(大江戸線)国立競技場駅A1出口徒歩6分



平成18年度懇親会



●ホームカミングデーのご案内

ホームカミングデーは、10月27日(土)の駿輝祭開催時に、飯能キャンパスにて開催する予定です。同窓会主催の講演会や会員の皆様をご招待して懇親会を行う予定です。皆様お誘い合わせの上、ふるってご参加ください。



懇親会余興

●募金協力をお願い

法学部に「心臓・肝臓同時移植」

が必要な学生がいます。

平成18年4月、法学部に入学した橋本万里(はしもとぼんり)君(21歳)が、心臓・肝臓同時移植を必要としています。

万里君は、先天性心疾患を克服するため、小学校入学前に東京女子医科大学でフォンタン手術を受けました。しかし、近年、不整脈が現れ、病状は悪化の一途をたどっています。国立成育医療センターで詳しく検査したところ、すでに循環破綻を来しており、移植しか生きる道が残されていないことがわかりました。それでも彼は人生をあきらめず、休学していた高校を5年間かけて卒業し、受験にも挑戦し、平成18年4月には希望に胸を膨らませて駿河台大学に入学しました。しかし、今また彼は病院のベッドにいます。実際に授業を受けることができたのは、わずか2週間でした。

これまでの検査の結果、すでに心筋の状態が相当悪く、それに伴う合併症で肝臓も悪化しています。そのため、渡航して移植するという極限の方法でしか病氣と闘う方法がなくなりました。

移植ルートの確保は大変困難な経過をたどりましたが、このたびは東京女子医大心臓病センターと国立成育医療センターの先生方の提携で、米国ピッツバーグ大学病院で心・肝臓同時移植の内定をもらうことができました。しかし、海外での移植には、日本の公的負担が適用されず、医師に支払う医療費のほか移送費・滞在療養費等で個人では負担しきれない多額の費用が必要です。万里君の場合、日本円にして2億4千万〜3億6千万円(1ドル1120円で計算)が必要になることがわかりました。

そのため「万里君を救う会」が設立され、お一人でも多くの方からの協力が得られるよう活動が開始されました。万里君の命を救うためにも、皆様からの温かいご支援をお願い致します。



同窓会ホームページからも「万里君を救う会」のホームページにアクセスできます。

●万里君を救う会(事務局本部)

〒189-0014

東京都東村山市本町3-8-69

TEL042-306-8251

FAX042-306-8252

ホームページ

<http://www.banrihelp.com>



●募金のお振込先

口座名：「万里君を救う会」

○郵便振替口座番号 00190-3-613972

○三井住友銀行 東大和(ヒガシヤマト)支店 普通4043096

○三菱東京UFJ銀行 池袋(イケブクロ)支店 普通8102839

○みずほ銀行 池袋(イケブクロ)支店 普通1172195

○りそな銀行 東大和(ヒガシヤマト)支店 普通4403826

○ろうきん(中央労働金庫) 池袋(イケブクロ)支店 普通2210148

※機械入力の場合は、「バンリクンオスクウカイ」または「バンリクンヲスクウカイ」と表示されます。